

小野市教育大綱の改訂について

1 改訂の目的・考え方

- ①令和3年度における上位計画である市の総合ビジョン改定に伴い、その内容を踏まえて今回改定を行ったもの。
- ②改定にあたり、現大綱の基本理念や基本目標の方向性については、引き続き継承することを基本とし、そのうえで、社会情勢や教育環境等を取り巻く環境変化を踏まえ、施策の方向性や記載する「取組事例」について、必要な見直しを実施した。
- ③なお、他の自治体においては、記載内容を目標や施策の根本となる内容に留めている事例が多いが、本市においてはターゲットワーク推進の観点から、教育施策の大綱として、より具体的な内容を記載することを心掛けた。

2 改訂後の大綱の概要

1 基本理念

「脳科学理論」を基軸とした各人の個性を活かした全員活躍型による小野市独自の教育体系の推進

2 基本目標

- 1 激動の時代に柔軟に対応できる自立した人づくり
 - ・基礎学力のさらなる向上対策（「脳科学」と“学力”）
 - ・感性豊かな心の形成（「脳科学」と“心”）
 - ・健全な身体の成長（「脳科学」と“体”）
 - ・就学前教育の充実－あたたかい家庭づくりを目指して－
- 2 安全・安心な学校環境のさらなる推進
 - ・安全・安心な学校環境整備のさらなる推進
 - ・教育の専門家（プロフェッショナル）としての資質向上対策
 - ・生涯学習社会、生涯スポーツ振興に向けた基盤づくり
 - ・家庭・地域における教育力向上への支援継続
- 3 その他の重点施策
 - ・「16か年教育」による切れ目のない教育支援体制
 - －「小中一貫教育」のさらなる進化－
 - －「おの検定」のさらなる充実－

3 環境変化等を踏まえて追記した主な取組み例について

- ・小野市流GIGAスクールプロジェクトによるICT教育の充実、校務支援システムを活用した情報共有・一元化、インクルーシブ教育の体制整備と合理的配慮の検討、地域特性を踏まえた新しい部活動のあり方検討など

3 計画期間のフレキシブルな運用

- ・なお、計画期間については、原則5年間（R4～8）としつつ、必要に応じた延長及び内容等の見直しを可能とすることで、環境変化に柔軟に対応する。